

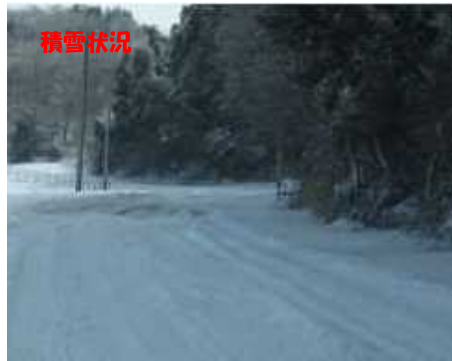
みちぶしん “道普請”

土木
未来

協働による道路環境整備（土木未来チャレンジ事業）

安全・快適な道路環境を整備するため、地域の皆さまが主体となって県道沿線の支障木等の伐採作業を行っていただき、土木事務所が路肩改良工事を進める、「地域協働型土木行政推進事業」の実施報告です。

実施日：平成22年8月28日（土） 8:00～16:00
実施場所：玖珠町大字岩室 県道下恵良九重線 田代地区付近



積雪状況



現地調査



意見交換

田代地区唯一の生活道路である県道は、玖珠広域ゴミ処理場や碎石場を往来する大型車の通行もあり、離合場所の確保や凍結スリップ脱輪対策を、求められています。

対策には路肩改良が有効ですが、支障木の伐採が必要です。土木事務所と地区が調査し話し合っ、木の所有者との調整と伐採を地区が主体となって取り組み、土木事務所も手伝えることになりました。

作業状況



田代地区には、林業に携わっている方が多く、手際良く作業が進みました。重機もチェーンソーも自前！



地元の呼びかけに、県道維持委託会社と電線維持契約会社も、トラックや高所作業車を伴ってボランティア参加してくれました。ありがとうございました。



作業前後の比較



枝木がせり出していた山側が...



すっきり、明るくなりました！

猛暑の中、お疲れ様でした！
“道普請”を引き続きお願いします！

玖珠土木事務所は、早速、生活道路改繕事業に路肩改良工事に着手し、空間が確保できた道路区域を有効活用して脱輪対策などに取り組みます。